専スポ新入部員による

部活拝見特集

新監督に聞く

4団体を紹介

毎年恒例、専大スポーツ編集部の新入部員による特集企画。今年度は４月から新監督を迎え、新たな一歩を踏み出したアメリカンフットボール部、準硬式野球部、テニス部（女子）、ローラースケート部の４部を紹介する。新監督に抱負や目標を聞き、各部の変化や試合での見所などをまとめた。

アメリカンフットボール部

選手の真剣なまなざしで活力を

▲　ＯＢでもある松澤監督

今年度から監督が代わったアメリカンフットボール部。同部のＯＢでもある松澤宏昭監督（平６商）は部員全員に礼儀の大切さを教え込んでいる。練習中も選手一人ひとりと真剣に向き合い、笑顔で選手たちに声をかけている姿が多く見られた。

練習のメニューと練習量は1年次生から4年次生まで同じでありながら、活気があり、互いに切磋琢磨していた。

「試合では、選手たちの真剣なまなざしを見てほしい。そして、観客の皆さんには彼らの頑張っている姿を温かく見守って、活力にしてもらいたい」と松澤監督。

また、新体制となったグリーンマシーンを引っ張るディフェンシブバックの吉村隆宏主将（経営4・足立学園高）は、「上位校に勝つためには、冷静でいなければならない。メンバー同士がコミュニケーションを取り、団結力を高めていくことが必要」と熱く語る。

▲　練習に励む（撮影・竹内）

今回の取材で監督、選手の両者から勝つことへの執着心を感じ取ることができた。秋からのシーズンに期待したい。

（小池　あゆみ・経済1）

テニス部（女子）

研究成果を生かしレベルアップ

◀　スポーツ心理学が専門の平田監督

テニス部・女子の監督に平田大輔文学部准教授が就任した。

同部は1987年に創部され、92年には大学日本一の称号を手にするなど活躍。卒業生にはプロや実業団でプレーする選手も多い。

スポーツ科学、特にスポーツ心理学を専門とする平田監督は「プレッシャーもある。引き継いだ以上責任を持ち、研究の成果を生かして良い成績を出せるように頑張りたい」と語った。

難波沙樹子主将（文4・新宿山吹高）は、「平田監督はミスやエラーに関する研究をしていて、データに裏付けされた具体的なアドバイスをくれる。私たちは明確な意図を持って練習に取り組めるようになった」とコメントした。

現在部員が14人。室内練習場やナイター設備などが無く、あまり良い練習環境とは言えない。しかし、チームにはまとまりがあり、限られた時間の中で質の高い練習に集中して取り組むことができる。この強みを生かし、チームの目標である「全日本学生王座で優勝」を成し遂げるために、これからも頑張ってほしい。

（斎藤　亮太・文1）

▲　質の高い練習に取り組む（撮影・石川）

準硬式野球部

『自分たちが目指す野球』に導く

▲　コーチから監督に就任した海老原氏

海老原康彦氏（平19法）がコーチから監督に就任し、新生・準硬式野球部の活動が始まった。

「優勝することはもちろん、『自分たちが目指す野球』をプレーで表現できるようになることも目標の一つ。『自分たちが目指す野球』について監督としてアドバイスはするが、選手同士で話し合って決めてもらいたい」と方針を明かす。

「高校までの練習方法やスタイルが野球観に強く影響する。大学ではさまざまな選手がいて野球観も異なるが、個々の野球観を大切にし、選手たちのやりたい野球ができるように、具体的な言葉で選手たちに伝え、導いていきたい」と話し、「野球観のぶつかり合いも大切。難しいことだが、話し合い、チーム一丸となって答えを導き出したい」と語った。

また「技術や能力を生かしきれていない選手が多いと感じている。選手一人ひとりがもうひと工夫できるように、考える力を養う方法を模索している」と海老原監督。メンタル面での成長は、必ずチームを勝利へと導いてくれるはずだ。

（小川　史緒梨・文1）

▲　「自分たちが目指す野球」を追求する（撮影・佐藤）

ローラースケート部

自発性を重視、日本代表輩出へ

生田キャンパス西グラウンドでローラースケート部の斎藤卓聡監督（平17経済）に取材をした。現在は大学職員として勤務している斉藤監督は、同部ＯＢで現役時代には全日本学生選手権4連覇に貢献。ローラースケートへの思いは人一倍熱い。

「全日本レベルを目指しつつ、学問との両立を図らなければならない。育てるのが難しいけれどそれが面白い」。また、目標を「ホッケー部門はインカレ優勝。なにより学生の日本代表選手を輩出したい」と話す。

目指すはレベルの底上げ。社会人選手とともに練習したり、選手だけでミーティングを開き、負けた原因や練習方法を自分たちで考えさせたりすることで、選手の自発性を促す。

矢吹健主将（法4・福島西高）は「社会人チームの練習に参加することでモチベーションが上がる。またミーティングで意見を交わし、インカレ総合優勝というチームの方向性が決まった」と成果を話し、「監督は話しやすく、部活以外にもいろいろと相談にのってくれる」と語った。

「歴史ある部なので下手な戦い方はできない。大会では勝たなければならない」と斉藤監督。勝利へはもちろん、選手の将来に対しても熱心であった。先の先までを見据える目、監督という職に向き合う姿に出会えた。

（遠藤　史崇・文1）

▲　練習を見守る斎藤監督（撮影・中村）

東都大学野球秋季リーグ戦（２部）日程

９月３日（月）	専　大－東農大	（12：30）
４日（火）	専　大－東農大	（10：00）
18日（火）	専　大－国士大	（12：30）
19日（水）	専　大－国士大	（10：00）
24日（月）	専　大－立正大	（12：30）
25日（火）	専　大－立正大	（10：00）
10月９日（火）	専　大－日　大	（10：00）
10日（水）	専　大－日　大	（12：30）
15日（月）	専　大－拓　大	（10：00）
16日（火）	専　大－拓　大	（12：30）

◇神宮第二球場で開催
◇雨天、その他は順延
◇神宮第二球場　☎03（3401）8770
※東都大学野球連盟ホームページ
http://www.tohto-bbl.com/

記録コーナー

ロンドン五輪で本学関係者が活躍

8月12日に閉幕したロンドンオリンピックに本学関係者が出場、参加し、健闘した。

◇選手◇

【馬術】

根岸淳さん（馬術部ＯＢ、東武ＲＣ&クレイン所属）総合馬術団体＝12位

【フェンシング】

平田京美さん（平17経済、フェンシング部ＯＧ、岐阜トヨタ自動車所属）女子フルーレ団体＝7位

◇スタッフ・役員◇

久木留毅文学部准教授＝日本代表選手団本部員

【バレーボール】

渡辺啓太さん（平18ネット情報、日本バレーボール協会所属）＝女子バレーボール・アナリスト

【レスリング】

佐藤満経営学部教授＝チームリーダー

吉田栄勝さん（昭50経済）＝女子コーチ

鈴木聖二さん（平23経営、専大レスリング部コーチ）＝トレーニングパートナー

半田　守（経営4・網野高）＝同

国際大会出場選手

◇サッカー部

北爪　健吾（法2・前橋育英高）

仲川　輝人（商2・日体荏原高）

萩間　大樹（経済1・瀬谷高）全日本大学選抜

スペイン／2012年COTIF国際大会（8月13～25日＝スペイン・バレンシア市）

◇スキー部

▽全日本サマーコンバインド朝日大会（7月27日＝北海道・朝日ローラーコース）

【成年の部】清水亜久里（商3・新井高）＝5位

バスケットボール　選抜チームに宇都、加藤

日本男子学生選抜バスケットボール大会（7月6～8日、徳島県立鳴門総合体育館）の関東大学選抜に宇都直輝（経営2・中部大第一高）が選ばれた。同選抜は決勝で関西大学選抜に78－75で勝利し、3連覇を達成した。

また、ユニバーシアード女子日本代表に選出されていた加藤夕貴（文3・明星学園高）は、同代表が出場したウィリアム・ジョーンズカップ（7月7～11日、チャイニーズ・タイペイ）でスタメンで全試合出場し、3位となった。

（青木　宏平・経営3）

夏の甲子園

OB2人が監督で出場

8月8日に開幕した第94回全国高等学校野球選手権に準硬式野球部ＯＢの藤田明宏さん（平2経済）、野球部ＯＢの宮良高雅さんが監督として出場している。

藤田さんが率いる県立岐阜商業高校（岐阜県代表）は6日目第4試合で新潟明訓高校（新潟県代表）と、宮良さんが率いる浦添商業高校（沖縄県代表）は3日目第1試合で愛工大名電高校（愛知県代表）と対戦する。